

ARIBの動き

第23回通常総会が開催される

去る2月22日、ホテルニューオータニにおいて第23回通常総会を開催し、平成19年度の事業計画及び収支予算等について審議し、提案のとおり議決して滞りなく終了しました。

平成19年度も本事業計画に基づき各事業を積極的に推進してまいりますので、会員の皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

議決された主な事項の概要は、次のとおりです。

1 平成19年度の事業計画及び収支予算について

平成18年度の事業計画及び収支予算は、次のとおり承認されました。

<平成19年度事業計画書>

第1 方針

通信・放送分野における電波の利用に関する、調査研究、研究開発、電波有効利用試験研究事業、照会相談業務等のコンサルティング、情報提供業務、普及啓蒙事業、電波利用システムの標準規格の策定、関連外国機関との連絡及び特定周波数変更対策業務を積極的に推進する。



第23回通常総会の様子

野間口会長

## 第2 事業計画

### 1 通信・放送分野における電波の利用に関する調査、研究及び開発

#### (1) 調査研究

第三代移動通信システムの高度化等の調査研究、デジタル放送の品質評価法の調査研究、電磁環境の技術に関する調査研究等を始めとして、今後の電波利用システムに関する技術動向、需要動向、標準方式等について、広く内外にわたって調査研究を行うとともに、関係機関からの受託調査を行う。

#### (2) 研究開発

デジタル放送システムの研究開発等を始めとして、電波の有効利用に関する技術の研究開発を行うとともに、電波利用システムに対する需要動向等に基づき新たな電波利用システムの研究開発を行う。

#### (3) 電波有効利用試験研究事業

関係機関からの委託に基づき重要無線通信の高密度利用技術等の電波のより効率的な利用に資するための技術に関する試験研究を行う。

### 2 通信・放送分野における電波の利用に関するコンサルティング、普及啓蒙並びに資料又は情報の収集及び提供

#### (1) コンサルティング

無線回線の使用可能周波数及び伝搬障害防止に係る照会相談業務等のコンサルティングを実施するとともに、照会相談業務を行うための電子計算システムについて、機器の整備、ソフトウェアの開発等を行う。

#### (2) 情報提供業務

電波の有効かつ適切な利用に寄与する無線局の周波数及び無線設備等に関する事項について、情報提供業務を行う。

#### (3) 普及啓蒙事業

新しい電波利用システムに関する国内外における普及活動を行うとともに、電波の利用に関する行政方針、電波利用システムに関する標準規格及び技術開発動向等に関する講演会等の開催、ホームページによる情報の提供並びに機関誌・ニュース等の発行を行う。また、電波の有効利用に功績のあった個人又は団体の表彰を行う。

### 3 通信・放送分野における電波利用システムの標準規格の策定

電波利用システムの研究開発等の成果に基づき、無線機器製造者、利用者等の意向を十分に反映して、各種の電波利用システムの標準規格を策定する。

### 4 通信・放送分野における電波の利用に関する関連外国機関との連絡、調整及び協力

電波利用システムの調査研究、研究開発等に関する事項について、密接に関連外国機関との連絡、調整及び協力を行う。

## 5 特定周波数変更対策業務

地上テレビジョン放送のデジタル化を行うために必要な既設の地上アナログテレビジョン放送の周波数等の変更に伴い、無線設備の変更の工事をしようとする免許人その他の無線設備の設置者に対して、これに係る給付金の支給その他の援助を行う特定周波数変更対策業務を実施する。

## 6 特定周波数終了対策業務

特定周波数終了対策業務は、実施しない。

### <平成19年度収支予算書>

### 収 支 予 算 書 総 括 表

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位 千円)

科 目	合 計	一般会計	周波数変更 特別会計	基金特別会計	内部取引消去
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
(1) 会費収入	298,600	298,600	-	-	
(2) 事業収入	1,696,490	1,307,000	389,490	-	
(3) 繰入金収入	0	30,000	-	0	-30,000
(4) 国庫債務負担行為交付金収入	7,592,780	-	7,592,780	-	
(5) 特定資産運用収入	30,000	-	-	30,000	
(6) 雑収入	1,300	100	0	1,200	
事業活動収入計 (A)	9,619,170	1,635,700	7,982,270	31,200	
1 事業活動支出					
(1) 事業費支出	8,996,530	1,403,750	7,592,780	-	
(2) 金融費支出	389,490	-	389,490	-	
(3) 管理費支出	276,800	276,800	-	-	
(4) 繰入金支出	0	-	-	30,000	-30,000
事業活動支出計 (C)	9,662,820	1,680,550	7,982,270	30,000	
事業活動収支差額 (A)-(C)	-43,650	-44,850	0	1,200	
II 投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
(1) 敷金戻収入収入	0	-	-	0	
(2) 特定資産取崩収入	145,000	-	-	145,000	
(3) 繰入金収入	145,000	145,000	-	145,000	-145,000
投資活動収入計 (A)	290,000	145,000	0	290,000	
1 投資活動支出					
(1) 特定資産支出	146,200	-	-	146,200	
(2) 繰入金支出	145,000	145,000	-	145,000	-145,000
投資活動支出計 (C)	291,200	145,000	0	291,200	
投資活動収支差額 (A)-(C)	-1,200	0	0	-1,200	
III 財務活動収支の部					
1 財務活動収入	0	0	-	0	
財務活動収入計 (A)	0	0	-	0	
1 財務活動支出	0	0	-	0	
財務活動支出計 (C)	0	0	-	0	
IV 予備費支出	55,150	55,150	-	0	
前期繰越収支差額	100,000	100,000	0	0	
当期収支差額	-100,000	-100,000	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	0	

注 周波数変更特別会計は特定周波数変更対策業務特別会計を示す。

## 2 補充役員の承認について

理事会において選任された2名の補充役員が、総会の承認を受けました。  
 なお、倉重理事は、ソフトバンクテレコム株式会社の人事異動に伴い、平成18年12月25日付けで理事を辞任されております。

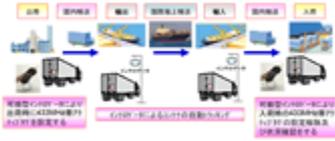
役職	氏名	現職
理事	大坪 文雄	松下電器産業株式会社 代表取締役社長 (中村邦夫前理事の後任)
理事	倉重 英樹	日本テレコム株式会社 代表取締役社長 (村上春雄前理事の後任)

**最近の特定小電力無線局等に関する動向及び  
ARIB標準規格の策定・改定の予定**

総務省においては、広帯域無線アクセスシステム等の制度整備が進められる一方で、特定小電力無線局を中心に、生活に密着して使用される電波利用システムの制度整備が相次いで行われようとしています。これに対応したARIB標準規格の策定・改定の予定を整理しました。

**特定小電力無線局の総務省の動きとARIB標準規格の策定・改定の予定**

システム	総務省の動き	ARIB標準規格策定・改定の予定
169MHz帯補聴援助用ラジオマイク 	技術的条件の情報 通信審議会一部答 申(2007.1.24)	「STD-T54 特定小電力無線局補聴援助用ラジオマイク用無線設備標準規格」に169MHz帯を追加して改定予定(規格会議小電力無線局作業班ラジオマイクWGで改定案を作成予定)。
タイヤ空気圧モニター、 キーレスエントリーシステム等(315MHz帯) 	技術的条件案の 公表(2006.10.6) 規則改正省令案の 電波監理審議会答 申(2007.2.7)	規格会議小電力無線局作業班SWGで「特定小電力無線局315MHz帯テレメーター用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備標準規格」(案)を作成中。 次々回規格会議で策定予定。
体内埋込型医療用データ 伝送システム(400MHz帯) 	技術的条件案の 公表(2006.11.21) 規則改正省令案の 電波監理審議会諮 問(2007.2.7)	ARIB標準規格は策定しない予定。
433MHz帯アクティブタ グシステム	技術的条件の情報 通信審議会一部答	ユビキタスネットワーキングフォー ラム 電子タグ高度利活用部会 無線通信専 門委員会配下のUHF帯電子タグシス

	<p>申(2006.7.20) 無線設備規則等を 改正(2006.12.20)</p>	<p>テム標準化WGで「STD-T92 特定小電力無線局433MHz帯国際輸送用データ伝送用無線設備標準規格」(案)を作成。  次回規格会議(3月)で策定予定。</p>
<p>800MHz帯デジタル方式 ラジオマイク</p> 	<p>技術的条件の情報 通信審議会一部答 申(2007.1.24)</p>	<p>「RCR STD-15 特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備標準規格」を改定予定(規格会議小電力無線局作業班ラジオマイクWGで改定案を作成予定)。</p>

以下は、特定小電力無線局ではありませんが、参考までに記載(包括免許、登録制等が検討されています)

<p>携帯電話用及びPHS用小電力レピータ</p> 	<p>技術的条件の情報 通信審議会審議開 始(2007.1.24)  2007/4頃技術的条 件の答申予定</p>	<p>未定。</p>
--	---	------------

## 編集後記

行ってきました。大枚2万円を払い、二人で4万円。パリへ行って聞くのが夢でしたがあきらめていたところに、突然、日本最後の公演と銘打ったシャルル・アズナブールのライブ。会場(国際フォーラム)、高齢(82歳)、アレンジなど最初は違和感がありましたが、やがて盛り上がり、最後は総立ちの拍手とアンコールを求める歓声の中で終わりました。「ラ・ボエーム」を聞いたことでもあり、La Bohemeの編集後記もこれで終わりにいたします。

(La Boheme)

[ページの先頭に戻る ▲](#)